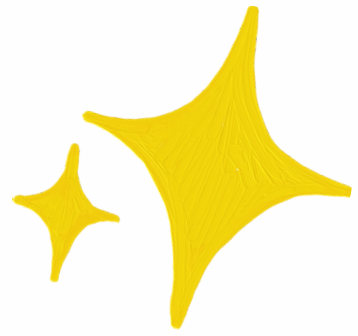




Tabeiro オンラインスクール



帝王学四柱推命を
学ぼう



講師：春野海
占いの部屋 Tabeiro

四柱推命とは



四柱推命は複雑で難しいというイメージがあるようですが、それはいくつかの要素がお互いに関係し合っている様子から、運命を知る方法だからになります。

それぞれの要素を理解して、**キーワードを繋げながら**
命式から運命を読み取っていくのがコツになります

ただ「四柱推命」と呼ぶのは日本で台湾や中国本国では
『先天八字（せんてんぱーつ）』と言います。

- ◆ 生まれた《年・月・日・時》の4つの柱に、8つの文字を割り当てます。
- ◆ 五行のバランスや漢字同士の関係を見て、性質や器量の大きさ、成功運を判断します。

8つの漢字だけというシンプルさゆえに解釈がむずかしく熟練に
10年かかるのが欠点といえます

時の流れを感じる



昔から干支（干支暦）がカレンダーであり、今以上に親しみを持って生きてきました。また暦（こよみ）は、日や月や季節の移り変わりを知るため、古くから暮らしに欠かせないものでもあります。

干支の間に人が存在する天干・地支のエネルギーの間に『人』が存在している。
我々人間は実は、干支のエネルギーのうねりの中でいきているわけです
干支を見るだけで、毎年の流れが掴めるようになってくる！

- ◆ 甲子は1番目の干支
- ◆ 戊辰は5番目の干支
- ◆ 壬申は9番目の干支
- ◆ 辛亥は49番目の干支

この干支歴は、60干支のエネルギーがあります。

時の流れを感じる



歴史に残る建造物や「戦」は、「干支」の名前がつけられている。普段は見えない隠れた自分の本質の一部なんです。人間は一樣ではなくて、複雑であり多面体。それらをととても解りやすく、明確にグループ分けできるのが『命術』なのです。

- ◆ 「甲子園」は「甲子」の年に作られ、 大正13年（1924年）
- ◆ 「戊辰戦争」は「戊辰」の年におこり
- ◆ 「壬申の乱」は「壬申」の年におこり
- ◆ 「辛亥革命」は「辛亥」の年におこった ・ ・ 明治44年（1911年）

そもそも干支は、数を数えるもので、年だけではなく、月や日・時間にも使われていました。人が、60歳の誕生日を迎えると、生まれた年の干支に還ることから、『還暦』を迎えると言います。生まれ年から60通り（60干支）が巡ってきたことをお祝いします。

干支を見るだけで、毎年の流れが掴めるようになり、今後の指針にもできます。

東洋占術理論



四柱推命を始め東洋占術は、陰陽五行思想が推命の基本ですので、陰陽五行の関係を十分に理解しておくことが、習得の近道です。

「陰陽思想」

宇宙は「混沌」から始まり、その後、物質が陰と陽に別れ構成されているという理論で、この理論は、西洋にも存在し西洋占星術の12の星座でも、男性星座、女性星座の二分されており、陰陽の理論が根底に流れています。

※陽の気と陰の気に全てのものが分類され、両方の気が引き合って調和をとります。逆に見ると、陽と陽、陰と陰は反発し合う事になります。

混沌（こんとん）：天地がまだ開けず不分明である状態。すべてが入りまじって区別がつかないさま。

東洋占術理論



「五行思想」

万物は、「木・火・土・金・水」の5つの元素から構成されているという思想です。5つの元素の関係には、お互いを生み出す関係と相手を傷害する関係と同じ五行で強める関係があります。

四柱推命用語

- ◆ 命式：生年月日と生まれた時間をから組み立てる運勢の地図で、命式を基準に占う人の本質など運勢の癖をみつけます。運命の先天的な宿命を表しており元命式とも言います。
- ◆ 月令：月柱の地支を指し、その人が生まれ持った季節を表しています。日干と月令の組み合わせにより日干の力が大きく左右される重要な星です。

まとめ



四柱推命は、学ぶことが多いので出来る部分から学んで見ましょう

- ◆ それぞれの深掘りをしていく
- ◆ 四柱推命は、学べば学ぶほど深い占術です。ここまでできれば、本を買って勉強できる知識はついているので挑戦してみるのもOK！
- ◆ たくさんの人を占ってみて、3年くらいかけるつもりでアウトプットしながら覚えていきましょう！

まずは、四柱推命の概要から様々の占い方までをオンラインスクールでは、教えていきます✍️

実際の鑑定で使いづらい部分もあれば、使いやすい部分もあるのが占い占術でおもしろいところ！！知識の幅を広げてみて、知恵を蓄えながら鑑定の幅を広げてみましょう💎